

## 無形民俗文化財の保存・活用に関する調査研究 (①無02-11-1/5)

### 目 的

我が国の風俗慣習、民俗芸能、民俗技術等無形民俗文化財のうち、近年の変容の著しいものを中心に、その実態を把握するために資料収集と現地調査を行う。また、無形民俗文化財研究協議会を実施し、その成果を報告書にまとめる。さらに、これまで東京文化財研究所で収集し、保管している無形民俗文化財についての記録・資料の整理を行い、媒体転換等の必要な措置を講じるための準備を進める。

### 成 果

#### 1. 無形民俗文化財に関する調査・資料収集

民俗技術に関する調査・資料収集として、鵜飼および鵜捕りの技術調査を、茨城県日立市を中心に行った。その成果の一部は「鵜と鵜飼の民俗」で報告した。また、山口県下松市における蒔織技術を中心とする民俗調査を行い、その成果は『無形文化遺産研究報告』で報告した。また、削りかけ状祭具に関わる技術と風俗・慣習の調査を、北海道と福岡県太宰府にて行った。

#### 2. 無形民俗文化財の公開状況に関する調査研究

地域伝統芸能フェスティバルあおもり（青森県）、国民文化祭京都2011（京都府）における民俗芸能等の公開状況調査を実施した。

#### 3. 研究集会の開催

日 時：2011（平成23）年12月16日（金）10：30～17：30

会 場：東京国立博物館平成館

参加者：170名

テーマ：震災復興と無形文化―被災地からの報告と提言―

趣 旨：無形文化遺産部では、無形民俗文化財の保存・継承に寄与することを目的として、毎年無形民俗文化財研究協議会を開催してきた。第6回にあたる本年度は、複数年の継続テーマとして「震災復興」を取りあげた。災害という局面において無形の文化をいかに守り伝えていくことができるのか、また復興のために文化がどういった役割を果たしうるのかについて報告・総合討議を行った。協議会の成果は報告書として刊行した。

プログラム：

10：30～10：35 開会挨拶 宮田繁幸

10：35～10：45 主旨説明 今石 みぎわ

10：45～11：15 「東日本大震災を乗り越えて―沿岸部の民俗芸能 復興の現状」

阿部武司（東北文化財映像研究所所長）

11：15～11：45 「津波と無形文化」

川島秀一（リアス・アーク美術館副館長）

（昼食）

13：30～14：00 「被災集落と神社祭礼について」

森幸彦（福島県立博物館 専門学芸員、南相馬市伊勢大御神禰宜）

14：00～14：30 「後方支援と三陸文化復興プロジェクト」

小笠原晋（遠野文化研究センター事務局長）

14：30～15：00 「震災と文化復興」

赤坂憲雄（学習院大学教授、福島県立博物館館長）

（休憩）

## ①プロジェクト研究 Area2

15:30～17:30 総合討議

コメンテーター：小川直之（國學院大学教授）

石垣悟（文化庁伝統文化課民俗文化財部門文化財調査官）

司会：今石みぎわ

### 論文

- ・今石みぎわ「鶉と鶉飼の民俗」『人と動物の近代—絵はがきのなかの動物たち』東北芸術工科大学東北文化研究センター 11.9
- ・今石みぎわ「蕨と蕨織りの技術」『無形文化遺産研究報告』6 pp.59-73 東京文化財研究所 12.3

### 発表

- ・今石みぎわ「青潮文化とタブノキ」東北芸術工科大学 東北地方における環境・生業・技術に関する歴史動態的研究総括研究会 東北芸術工科大学東北文化研究センター 11.6.18
- ・宮田繁幸「民俗芸能のネットワークについて」フォーラム「民俗芸能ネットワークと地域活性化」寒河江市立図書館 11.10.23
- ・今石みぎわ「民俗技術と自然環境—削りかけ状祭具と樹木との関わりを中心に」総合研究会 東京文化財研究所 12.1.10

### 刊行物

- ・『第6回無形民俗文化財研究協議会報告書 震災と無形文化—現地からの報告と提言』東京文化財研究所 12.3

### 研究組織

○宮田繁幸、今石みぎわ（以上、無形文化遺産部）、齋籐裕嗣（客員研究員）